

KOMEI たちかわニュース



令和3年第4回定例会報告

令和3年第4回立川市議会定例会が11月30日から21日間の会期で開かれ、市長提出の全議案が可決・承認・認定され12月20日に閉会しました。今定例会で承認・可決された一般会計補正予算では、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種、感染第6波に備えた自宅療養者への医療支援、子育て世代臨時特別給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金などの事業費のほか、総合福祉センターの機器等改修工事費、新学校給食共同調理場用地買収費などが盛り込まれました。

尚、山本みちよ議員は12月6日の一般質問に立ち①空き家対策について
②防災対策について③公共施設における課題についての大きく3項目について質疑を行いました。

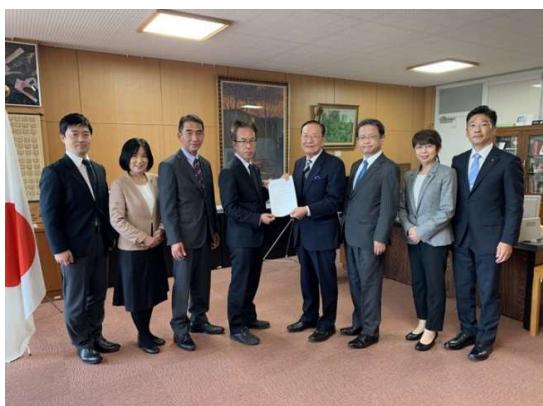
また、環境建設委員会で報告のあった幸町四丁目開発事業について、歩行者等に対する安全対策を図るよう求めました。(要旨は中面にて)



令和4年度 予算要望を提出

令和3年11月4日、公明党立川市議団は令和4年度の予算要望書を清水庄平市長に提出しました。来年度の予算編成に向け、日常活動の中で頂いた市民の皆さんとの声や今後の立川市の方向性や課題について、市議団で検討を重ね精査した57項目を要望しました。

〈主な予算要望項目〉



- 期日前投票所と期間の拡充
- 通学路の安全対策強化（防犯カメラの増設など）
- 産後ケア事業の利用料見直し
- ごみ出し困難者への支援拡充
- ヤングケアラー支援を進めること
- 迷惑鳥獣駆除・防除への助成制度の創設
- 危険な空き家対策を着実に進めること
- 交通弱者への移動支援の仕組みづくりを進めること
- パートナーシップ制度導入に向けた検討をはじめること

山本みちよ議員の一般質問（要旨）

空き家対策について

«質問の背景»

平成30年、『立川市特定空家等の適正管理に関する条例』を施行し、令和3年3月、『立川市空家等対策計画』が策定されました。



質問 空き家等の適正管理に関する条例施行により、所有者の特定や危険な空き家に対する条例に基づいた応急措置の実施が可能になったとのことだが、管理不全の空き家等が発生しないよう所有者への意識啓発を進めるべき。

答弁 旧耐震基準の住宅の相続の際の所得税軽減制度について、市HP、担当課窓口にてリーフレットを配布している。
※山本みちよ議員は「おくやみコーナー」での配布を提案。配布体制を整えるとの答弁がありました。

防災対策について その①

«質問の背景»

災害時の情報提供について、防災行政無線を中心に情報発信を行ってきました。難聴地域対策としてスピーカーの増設や「自動応答システム」の回線増設を実施してきました。今後の取り組みとして「立川市公式LINE」を導入し正確な情報を迅速に提供できるよう強化を図るとしています。



質問 導入予定の公式LINEでは利用者が必要な分野に登録し、その行政情報の配信を受けられるとの事だが、災害時・緊急時の情報については全ての登録者への配信をするべきではないか。

答弁 友達登録の利用者全員への情報配信は可能。
今後、LINE導入の際には運用面について検討する。

提案 LINEを活用できない市民もいることから、避難行動要支援者宅には安否確認やSOS発信機能などの付いた防災ラジオの貸与を考えられないか。
また、多文化共生都市宣言を行っている立川市として、LINE配信の際には外国語による情報発信も考えてはいかがか。
※副市長より、指摘のあった福祉の点、多文化共生の視点などをもって、市の情報提供の在り方を前向きに検討していくとの答弁がありました。

防災対策について その②

《質問の背景》

平成 29 年 3 月議会にて立川市聴覚障害者協会より公共施設の改善に関する請願が採択され、その後、市役所受付窓口の改善が図られました。

質問 採択された請願では、市の公共施設でも緊急情報が視覚で確認できる環境整備が求められていたが、その後の対応について伺う。

答弁 緊急情報を視覚で確認できるシステムの設置は、各施設の改修や建て替えの際に施設の特性を踏まえ検討する。現在設計中の 2 施設（子育て・健康複合施設、砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設）でも、都のユニバーサルデザイン導入ガイドラインに、基づき所管課と調整し検討を進めていく。

提案 避難所の防災備蓄用品に「災害時支援用バンダナ」の導入ができるないか。

答弁 避難所における要配慮者への対応は課題と考えており、提案のあったバンダナ導入も

～コラム～

「災害時支援バンダナ」は、聞こえないことや手話での支援ができることが一目でわかるデザインになっています。対角線上で必要な面を表にして肩に掛け活用するものです。



同性パートナーシップの公的承認についての陳情を採択

立川市における「同性パートナーシップの公的承認制度の導入に向けた協議の開始」を趣旨とした本陳情は、12 月 20 日の本会議において全会一致で採択されました。公明党は、先の衆院選マニフェストにおいて、『多様性を尊重する社会の実現のために自治体パートナーシップ認定制度の推進を図るとともに、性的指向と性自認に関する理解増進法の成立を図る』と明記しています。東京都も「同性パートナーシップ制度」導入の方針を示しています。立川市では現在、「性の多様性」に対する理解を深めることを目的に、職員向けのハンドブックの作成に取り組んでいます。

立川市のコロナワクチン接種

～コロナワクチン3回目接種始まる～

新型コロナワクチンの3回目接種は、2回目接種後8ヶ月を経過した18歳以上の希望者が対象となります。立川市では医療従事者から始まり、1月より高齢者施設入居者、2月からは一般の高齢者へと進められます。3回目接種は、立川市から接種券が届き次第、電話かインターネットで予約し接種を受けます。予約時の混雑を避けるため接種券は分散して発送し、電話受付も回線を分けて対応されます。なお、まだ1回目、2回目の接種を受けていない方や新たに12歳となった方への接種も継続して実施されています。

詳細は立川市HP（右QRコード）をご覧ください。



公明党 第26回参議院議員通常選挙の第1次公認

公明党は昨年12月13日、中央幹事会において夏の第26回参議院議員通常選挙の第1次公認を決定しました。公認されたのは、埼玉、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡の7選挙区と、比例区7人の計14人です。東京選挙区は、党女性局長で現職2期の竹谷とし子氏。初当選以来、会計のプロの視点で「財政の見える化」等に取り組んできました。現在、食品ロス削減プロジェクトチーム座長としても活躍中。

東京選挙区

竹谷とし子

【略歴】

党女性局長、同離島振興対策本部長、同東京都本部副代表。元財務大臣政務官。公認会計士、税理士、行政書士。創価大学経済学部卒。参院議員2期。



皆様のお声をお聞かせください
立川市議会議員 山本みちよ

TEL/FAX 042-537-2866
メール yamamotomichiyo@tbz.t-com.ne.jp
ホームページ

山本みちよ

検索

公明新聞購読のご案内
ひと月 1,887円

政治経済はもとより、生活・文化など読み応えのあるタイムリーな情報がいっぱいの公明新聞。ぜひご購読を！お申し込みは山本みちよまで。